

訪問ガイド **2026**

アメリカ自然史博物館

ニューヨーク · から 33.14€

https://amnh.visit-tickets.com/ja/・優先入場チケット＆料金



歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

科学の新ゴシック様式の記念碑

GOOGLE 4.6 ★★★★★ 27 219 レビュー

TIQETS 4.4 ★★★★☆ 1 951 レビュー

1869年に設立されたアメリカ自然史博物館は、単なる展示施設にとどまらず、私たちの世界観を形づくってきた活発な研究センターです。 当初、セントラルパークの兵器庫に所在していたこの機関は、1870年代末に現在の所在地に移転した。 その建設は、コレクションの偉大さを反映するために複数の様式を融合させた壮大な建築プロジェクトであった。 キャルバート・ヴォックスとジェイコブ・レイ・モールドによって設計された元の建物は、中世の聖堂を思わせる独自のネオゴシック様式を備えている。 この最初の段階は、世界最大級の博物館の一つとなることを目指す記念碑の基礎を築いた。 後に追加された南翼は、茶色の石材を用いた新ロマネスク様式の要素を導入し、ゴシックの塔の垂直性と対照的に、圧倒的な視覚的堅牢さを生み出している。 今日私たちが知るその姿は、1936年にジョン・ラッセル・ポープの指揮のもと完成した威厳あるローマ式凱旋門の追加によって変貌を遂げた。 この壮大なエントランスはセントラルパーク・ウェストに直接面しており、現代的な都市と科学の聖域との間に劇的な移行を生み出しています。 彼女は、時間が止まったかのような内陣への入口を示している。 1877年12月の正式開館以来、この博物館は絶えず成長を続け、**3,200**万点の標本を収集してきました。 現在、同社は1,200人以上の従業員を擁し、毎年約100件の科学探査活動を資金提供しています。 常設展示室45室と最先端の研究室を備え、古生物学・動物学・人類学の分野で世界的な権威であり、年間500万人の来場者を魅了しています。

体験

> 凱旋門をくぐり抜けた瞬間、雰囲気が劇的に変わります。 自然光が大きな窓ガラスを通して差し込み、広大なホールを照らしている。そこでは、訪れる人々のささやき声だけが静寂を破っている。 あなたは、巨大な骨格標本と精巧に復元されたジオラマによって象徴される自然の圧倒的な偉大さに、すぐに直面します。 体験は、しばしば物事のスケールに対する感情的な衝撃から始まる。 青クジラが吊り下げられた展示の前であれ、対決する恐竜の前であれ、かつての生命と現在の生命の広大さを瞬時に感じ取ることができます。 ここは、科学が身近で詩的になり、人々が謙虚さと驚きをもって地球の生態系における自らの位置を contemplation するよう誘う場所です。



訪問の準備

実用的な情報

住所
Upper West Side · メトロ：86 St (A, B, C, D) または Central Park West (1, 2, 3)、徒歩5分。

開館時間
感謝祭を除き毎日開館しています。季節によって営業時間が異なる場合がありますので、ご来場前に公式サイトでご確認ください。

料金
年齢に応じて子どもは無料（バリアントを確認してください）

所要時間
主要ホールを慌てずに回るには最低3〜4時間を見込んでください。全コースは往々にして10,000歩を超えますので、コーヒー休憩を計画してください。

写真撮影
ほとんどの展示室ではフラッシュなしでの写真撮影が可能です。注意：昆虫やホログラムなどの敏感なエリアがあります。シャッターを切る前に現地の看板をご確認ください。

対象客層
5歳以上の子どもがいるファミリー、科学愛好家、好奇心旺盛な観光客に最適です。解説は明確で、あらゆる年齢層が理解しやすい内容です。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

Subway
: 81 St-Museum of Natural History — 2 min à pied
Grand Central Station (14 min) · New York Penn Station (15 min)

バス
: 81st Street & Central Park West — 2 min à pied
Grand Central Station (21 min) · New York Penn Station (23 min)

車
Grand Central Station (14 min) · New York Penn Station (16 min)

Citi Bike / 自転車
Grand Central Station (17 min) · New York Penn Station (19 min)

LOCALISATION

Où se trouve アメリカ自然史博物館 ?



📍 200 Central Park West — NY 10024 ニューヨーク

🌐 40°46.879′ N, 73°58.439′ O



組織

45のホールを巡る

1階（メインホール）

ここにはメインエントランスと有名な恐竜ホールがあります。アパトサウルの骨格標本や北米哺乳類のジオラマをご覧いただけます。コレクションの規模を理解するための論理的な出発点です。

2階と3階（地球・海洋科学）

上階へ上がり、吊り下げられたクジラを備えた「海洋ホール」、および鉱物学と隕石の展示室を探検しましょう。これらのフロアは、地質学的な力や深海生物への没入体験を提供し、視覚的に壮大な設備が整っています。

ローズ・アース＆スペース・センター

ガラスで建てられた現代的な付属施設であり、ヘイデン・プラネタリウムとインタラクティブ地球儀を収容しています。本館とは別棟ですが、太陽系や生命の起源を理解するための不可欠な拡張施設です。

アクセシビリティ

♿ 車椅子アクセス

エレベーターと入口での車椅子貸出により、バリアフリー対応が完全です。

👨‍👩‍👧 ファミリー向け

インタラクティブな展示やイベントがあり、5歳以上のお子様連れのご家族に最適なコースです。

🎧 オーディオガイド

Français, 英語, スペイン語



必見スポット

選択

博物館の見逃せない宝物

01 サウリスコidea恐竜ホール

アパトサウルスとアロサウルスの骨格標本

この劇的なシーンは、捕食者から子を守るアパトサウルスを描いています。これは博物館の象徴的な展示で、メインエントランスのすぐ先に位置しています。Sauropodの保護的な姿勢と戦闘のダイナミクスを観察してください。

> 💡 このジオラマは、来館者が到着した瞬間からすぐに魅了し、先史時代との強い感情的なつながりを生み出すために設計されました。

02 海洋生物のホール

吊り下げられたクジラ

実物大のブルートゥースクジラの模型が頭上を漂っています。この記念碑的な展示は、史上最大の動物であるこの鯨類の巨大さを具体的に視覚化することを可能にします。人間のサイズとクジラのサイズの対比は圧倒的です。

> 💡 この模型は非常に精密で、半透明の皮膚を模した部分を通して内部の解剖学的な詳細まで確認できます。

03 モーガン記念ホール

インドの星（スター・オブ・インディア）

この182カラットの青いサファイアは、世界最大のサファイアです。防犯ガラスケースに展示されており、その鮮やかな色合いがすべての視線を惹きつけます。これは博物館のコレクションの鉱物学的な豊かさを示す希少な宝石です。

> 💡 「スター」という名前は、ルチルの包有物が光を星状に反射して生じるアステリズム効果に由来します。

04 北米先住民のホール

ハイドア族の戦いカヌー

全長20メートルに及ぶこの彫刻と塗装を施されたカヌーは、先住民工芸の傑作です。太平洋沿岸の民族が持つ技術的・精神的な卓越性を示しています。その圧倒的なスケールは畏敬の念を呼び起こし、アメリカ先住民文化の複雑さを物語っています。

> 💡 船体に描かれた各細部は物語を語り、あるいは氏族を象徴しており、この作品はハイドア文化を読み解くための開かれた書物となっています。

05

特別展 / 化石ホール

アペックス・ステゴサウルスの化石

この完全なステゴサウルスの化石は、世界で最も保存状態の良い標本のひとつです。この鎧をまとった草食恐竜の骨格構造を詳細に観察できます。再構築ではなく、無傷の標本そのものをご覧いただける貴重な機会です。

> 💡 ワイオミング州で発見されたこの標本により、古生物学者たちはステゴサウルス類の解剖学に関するいくつかの誤解を修正することができました。

06

ローズ・センター・フォー・アース・アンド・スペース

インタラクティブ地球儀

直径15メートルの世界最大のインタラクティブ地球儀。宇宙と時間を旅し、地球表面の進化を視覚化します。地理的知識を文脈づける没入型体験です。

> 💡 この地球儀は高解像度レーザープロジェクションを使用し、気候からプレート運動までリアルタイムデータを映し出します。

07

絶滅と危機：危険にさらされた昆虫

危機に瀕する昆虫

この展示は、昆虫の生物多様性危機を浮き彫りにしています。標本は暗い展示ケース内に収められ、その脆さを強調しています。これらの小さな生き物が私たちの生態系においてどれほど重要であるかという痛切な提醒です。

> 💡 展示されている種のうち、特定の保護区でのみ生存しているものがあり、その保全が緊急を要しています。

08

ローズ・センター・フォー・アース・アンド・スペース

ヘイデン・プラネタリウム

追加料金がかかることが多いものの、「エンカウンターズ・イン・ザ・ミルキーウェイ」は催眠的な体験です。天球ドームへの3D投影により、映画のようなナレーションで宇宙の歴史を語ります。天文愛好家には必見です。

> 💡 ナレーターのリアン・ニールソンは、複雑な科学的説明に独自の重厚さと感情的な深みをもたらしています。

アドバイス

完璧な訪問のためのヒント

タイミング

午前9時から11時の時間帯を必ず確保してください。恐竜館などの主要ホールは11時30分以降に混雑し、観察が困難になります。

チケット

時間指定のオンライン予約は必須です。チケットがプラネタリウムや「Invisible Worlds」などの有料展示を含むか確認し、含まれていない場合は行列を避けるために事前に購入してください。

見学ルート

1階（恐竜展示）から始まり、徐々に上層（海洋、鉱物）へ移動し、最後にローズセンターで締めくくりましょう。これにより、足が疲れた状態で下りることを避けることができます。

写真

青クジラを撮影する際は、やや下から構えて俯瞰アングルを捉えましょう。昆虫室やホログラム室では、標本を保護するためにフラッシュをオフにしてください。

休憩

社内レストランは混雑している可能性があります。昼食は81st StreetやLincoln Squareの近くで外食し、午後になって人出が減ってから戻ってくることをお勧めします。

子ども

頻繁に座って休憩する時間を確保してください。子どもたちは蝶の生体展示室などのインタラクティブなセクションをとても楽しみます。疲れてきた後半の訪問時にそれらを体験するようにしましょう。

オーディオガイド

フランス語のオーディオガイドは利用可能で、人類学および古生物学の展示のニュアンスを理解するのに非常に役立ちます。じっくりと鑑賞される方には、その価値があります。

快適さ

履きやすい靴を履き、最低でも10,000歩の歩数を想定してください。大きなバックパックは避け、入口のクロークを利用し、狭いホール内を自由に移動できるようにしましょう。



よくある質問

よくある質問

チケットを事前に予約する必要がありますか？

はい、すべての訪問者に対してオンラインによる日時指定予約が厳密に必須です。時間帯枠がない場合、博物館への入場は保証されません。日程が決まり次第、早めの予約をお勧めします。

入場券には具体的に何が含まれますか？

一般チケットは、恐竜ホールを含む45の常設ホールへの入場が可能です。有料オプションであるHayden Planetariumや「Invisible Worlds」展などは含まれません。到着前にチケットの内容をよくご確認ください。

ニューヨーク州住民向けの割引はありますか？

ニューヨーク州の住民は自由料金（pay what you wish）を利用できます。その他の訪問者は標準価格を支払います。購入時または入場時に有効な身分証明書のご提示をお忘れなく。

予約のキャンセルや変更は可能ですか？

本チケットは予約確定後、キャンセル・返金不可です。支払い前に日付、時間帯枠、参加人数を慎重にご確認ください。その後変更はできません。

完全な見学にはどのくらいの時間がかかりますか？

ハイライトを適度に回るには3〜4時間を見込んでください。45のホールに没入する場合は一日中かかる可能性があります。過度な身体的疲労を避けるため、目的に沿ったルートを選ぶことをお勧めします。

ご存知ですか？

エピソード＆トリビア

生きた博物館

単なる展示場ではなく、この博物館は年間**100**回の探検隊を資金提供しています。47人のキュレーターと200人の研究者が定期的に重大な発見を発表しています。あなたが眺めているのは死んだオブジェではなく、継続的な活発な研究の成果です。

隠された建築

現在の入口であるローマの凱旋門は、複雑な歴史を秘めている。ジョン・ラッセル・ポープによって設計され、博物館のイメージを近代化するために1936年に追加された。その背後には、1877年のオリジナルの新ゴシック様式の建築が依然として見られ、時代を超えた魅力的な対話を生み出している。

秘密図書館

この博物館には、ダーウィンの原本手稿を含む**485,000**冊の膨大な研究用図書が収蔵されています。このコレクションは古生物学および人類学において極めて重要であり、世界中の研究者に開放されています。

文化的影響

博物館の月刊誌『Natural History』は、著名な古生物学者スティーヴン・ジェイ・ゴールドのコラムを掲載した。彼のアメリカにおける科学普及への影響は計り知れず、この博物館をニューヨークの知的支柱の一つにしている。

博物館周辺

アッパー・ウェスト・サイドに位置するこの美術館は、一日の締めくくりをより充実させるための理想的な立地にあります。 すぐその向こうには、セントラルパークが広がり、訪問での運動後の消化に最適な緑のオアシスとして、散歩を楽しむのにぴったりです。 徒歩数分の場所に、現代芸術の象徴であるグッゲンハイム美術館や、マンハッタンを一望できるハイラインの都市遊歩道があります。 昼食には、内部の混雑を避け、リンカーン・スクエア・ショッピング周辺に多数あるレストランを探してみてください。理想的には、交通機関の近くにある場所がおすすめです。 この活気ある地区では、文化的な体験、リラックス、そして美食を、大きな物流的な手間なく組み合わせることができます。



博物館を出ることは、私たちの惑星に対する新たな視点を持ち帰ることである。 廊下に消えていく足音と、プラネタリウムの天幕を見上げる視線のあいだで、この訪問は深い印象を残す。 そこでは、単なる事実だけでなく、自然や宇宙との深いつながりを見つけてください。